

■教材のイメージ

考えてみよう

自分が送ってしまいそうなシチュエーションを考えよう。



シチュエーションワードを丸で囲み、送ってしまいそうなシチュエーションを2つ作りましょう。
(1つの項目から複数選択することも可能です。)

1番目に送ってしまいそうなシチュエーション

● 選んだワード

どんな	① 年上の	② 年下の	③ 部活の	④ 怖い	⑤ SNSで知り合った
	⑥ 好きな	⑦ 好きだった	⑧ 仲の良い	⑨ 信頼している	⑩ 弱みを握られている
	⑪ 複数の	⑫ 同じ学校の	⑬ 他校の	⑭ 塾の	⑮ 人気のある
だれに	⑯ 男の人	⑰ 女の人	⑱ 先輩	⑲ 後輩	⑳ 同級生
	㉑ から	㉒ と	㉓ に	㉔ の	
どのように	㉕ 自分の体のことを相談したら	㉖ 2人だけの秘密と言われて	㉗ 罰ゲームで		
	㉘ ○万円あげるからと言われて	㉙ 私(僕)の写真も送るから	㉚ 気をひくために		
	㉛ 生配信をしている時に	㉜ 個人情報を公開されたくなければ	㉝ ふざけて		
	㉞ 過去の恥ずかしい写真や情報をばらまかれたくなければ	㉟ 顔は出さないでいいから			
	㊱ とっておきの情報を教えてあげるから				
	㊲ 水着や下着の写真を撮って送るように言われた				
	㊳ 水着や下着の写真を投稿した	㊴ 水着や下着の写真を送るように何度も言われた			

Fig1. 自分が「自画撮りを送ってしまうシチュエーション」を考える（場面強制想像法）



Fig2. 「断るスキル」を身につける